

非核の政府を 求める大阪の会

非核の政府を求める大阪の会 豊島 達哉
 〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4 (新谷町第3ビル 210号)
 TEL.06(6765)3032 FAX.06(6765)3033
 URL・http://homepage3.nifty.com/hikakuosaka/
 E-mail・hikakuosaka@hotmail.com
 hikaku-osaka1986@nifty.com

第174号 2016年7月1日 **ニュース**



“ノーモア・ヒバクシヤ” 訴訟はいま、 被爆国日本政府に 求められるもの

六月一日に大阪グリーン会館ホールにて「二〇一六年ノーモア・ヒバクシヤ近畿訴訟全面勝利をめざすつどい」が開催されました。

ノーモア・ヒバクシヤ訴訟では、この間大阪高等裁判所で二つの逆転原告敗訴判決（昨年の一〇月二九日と、本年二月二五日）がでています。これらは松谷最高裁判決で判示され原爆症認定集団訴訟で引き継がれてきた、原爆症認定の司法判断の基準を根本から覆す、問題のある判決でした。今回のつどいは、今一度集団訴訟、ノーモア・ヒバクシヤ訴訟の意義を確認して、流れに逆行するような大阪高裁の判決を跳ね返し、全面勝利をめざすつどいとなりました。

つどいでは、藤原弁護士から、三月にドイツでの集会でノーモア・

ヒバクシヤ訴訟について紹介を行った事についての報告がありました。この集会は核兵器廃絶、原発をなくす市民団体の世界各地での取り組みの報告と交流を目的としたもので、藤原弁護士からは七〇年経った今なお、ヒバクシヤの被害は続いている事、そしてヒバクシヤに対する責任と補償を認めない国との間でヒバクシヤらの闘いが現在も続いている事が報告されました。またマーシャル諸島による国際司法裁判所への提訴の取り組みや、フクシマからの報告、核兵器禁止条約締結への課題等の報告がなされ、反核兵器、原発の国際運動の中で、本訴訟での取り組みが放射線被害の実相、原爆の非人道性を訴える大きな力となっている事が紹介されました。

また、長く原爆症認定問題について医師としてかかわり、数多くの意見書作成をし、法廷で専門家として証言

も行ってきた齋藤紀医師からは「なぜ原爆訴訟を継続してきたか」と題した講演が行われました。齋藤医師は、被爆後特別措置法が制定されるまでの二四年間、被爆者達の被害は全く放置され続けていたこと、被爆者や原水爆禁止の運動の前進により原爆症被害についての救済が進み、また被ばくの真相が明らかにされてきたこと、現在、国が攻撃を強めてきている「他原因論」（喫煙、肥満、加齢等、被ばく以外の要因が病気の原因であるという攻撃）を克服していくことは被ばくの実相をさらに明らかにしていくノーモア・ヒバクシヤ訴訟の新たな局面で開くことであると指摘されました。

齋藤医師の講演の後には、ケイ・シュガーさんによるピアノ弾き語りが行われ、会場全員で歌も歌いました。そしてその後愛須弁護士からは現在の訴訟の課題について報告が

なされました。福岡高裁等で、集団訴訟から続く、司法判断の基準を確認する判決がなされている一方、他原因が少しでもあれば原爆放射線起因性を覆すことができないかのような国の主張をそのまま鵜呑みにした、今までの司法の到達点を理解しない判決が大阪高裁で続けてでており、近畿弁護士としてこれを克服していく決意が表明され、支援の会としての行動提起がなされ、最後には全員で「青い空は」の合唱をしてお開きとなりました。

なおこの集いの後、同一の会場にて全国弁護士団・全国医師団による会議が行われ、国からの新たな攻撃に対する反撃の方法に付いて、議論がなされました。

も行ってきた齋藤紀医師からは「なぜ原爆訴訟を継続してきたか」と題した講演が行われました。齋藤医師は、被爆後特別措置法が制定されるまでの二四年間、被爆者達の被害は全く放置され続けていたこと、被爆者や原水爆禁止の運動の前進により原爆症被害についての救済が進み、また被ばくの真相が明らかにされてきたこと、現在、国が攻撃を強めてきている「他原因論」（喫煙、肥満、加齢等、被ばく以外の要因が病気の原因であるという攻撃）を克服していくことは被ばくの実相をさらに明らかにしていくノーモア・ヒバクシヤ訴訟の新たな局面で開くことであると指摘されました。

齋藤医師の講演の後には、ケイ・シュガーさんによるピアノ弾き語りが行われ、会場全員で歌も歌いました。そしてその後愛須弁護士からは現在の訴訟の課題について報告が

- 【非核五項目】**
- ① 全人類共通の緊急課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める。
 - ② 国是とされる非核三原則を厳守する。
 - ③ 日本の核戦場化へのすべての措置を防止する。
 - ④ 国家補償による被爆者援護法を制定する。
 - ⑤ 原水爆禁止世界大会の、これまでの台意にもとづいて国際連帯を強化する。



緊急レポート
 あなたを守ってあげられなくてごめん
 さいご、怒りは限界をこえた
 六・一九沖縄
 県民大会に参加して

六月一九日沖縄県民大会に参加し、悲しみ、怒り、衝撃、課題というものに直に触れることができたと思います。まず、元海兵隊員による残虐な事件の被害にあわれた女性やその家族、周囲の人々に対し深い悲しみを感じました。稲嶺名護市長の

「本日六月一九日は父の日であり、彼女が生きていけば日頃の感謝を父親に伝えることができたはずなのに、それが叶うことはありませんでした」という言葉や、翁長沖縄県知事の「あなたを守ることができなくてごめんなさい」という謝罪には目頭が熱くなりました。

しかしながら、超党派であるべきはずの沖縄県民大会に参加をしていないトコロがあり、追悼集会であるはずなのに批判が出ているというところに憤りを感じ、オール沖縄で今こそ一致団結しなければいけないのではないだろうかという思いに駆られました。翌日参加した高江でのヘリパッド工事に対する抗議行動の際、詩人アーサー・



府県が容認するのだろうか。「国外移設」となったとしても、その国で同じような被害が起こればその被害者たちは移設させた沖縄を恨み、それが連鎖していくのではないだろうかと感じました。「県外移設」でも「国外移設」でもなく、「全基地撤去」が大きな課題であると実感しました。(大阪平和委員会青年学生部 河戸翔平)

2016年度原水爆禁止

世界大会に参加を

- ◇ 国際会議 8月2日(火)～4日(木)
 - ◇ 世界大会—広島(メインの取り組み)
日時 8月4日(木)～6日(土)
開会総会 4日 14:00～
総合体育館グリーンアリーナ
分科会など 5日 9:30～
青年交流会・女性のつどいなど
閉会総会 6日 10:30～ 同会場
 - ◇ 世界大会—長崎 8日～9日
国際交流フォーラム 8日(長崎大学)
世界大会 9日(長崎市民会館)
- ※申し込み先：大阪原水協まで
(当会を通していただいても結構です)

夏の取り組みのお知らせ

□ ノーモア・ヒバクシャ近畿訴訟弁論日程

7月21日(木) 午前11時(地裁) 806号法廷
7月22日(金) 午後2時(高裁) 202号法廷

□ 海外代表と語ろうピースインおおさか
日時：8月1日(月) 13時
場所：大阪グリーン会館 2階

2016年度各自治体



非核・平和

施策紹介

毎年各自治体で実施される非核平和施策を紹介します。これは市町村の関係部門へのアンケートを基に当会が集約した今年度の抜粋です。関係者の皆さんのご協力に感謝します。尚、放射線測定器所有の有無等全項目は会ホームページをご覧ください。(5月末集約)

| 自治体 | 今年度の非核平和施策 ①児童、生徒、住民への啓蒙活動や草の根運動への後援・施策 ②市民や団体が実施するピースフェスタ、国民平和行進等、草の根運動への後援・施策や対応 ③今年度の予算額 | 福島原発事故被災者関係 ①福島原発事故に伴い、貴市(町村)への避難者は何人おられますか ②福島原発事故被災・避難者に対する対応 |
|-----|--|--|
| 大阪府 | ①大阪国際平和センター(ピースおおさか)において戦争・平和に関する展示、映画上映、紙芝居、資料貸出、戦跡ウォーク等を通常実施(小中学生は入館無料、子ども向け映画上映等) ②平和行進等へ知事メッセージを送付 ③ピースおおさかへの補助金44,192千円 | ①東日本大震災による大阪府への避難者数は、1270人(平成28.4.29現在 全国避難者情報システム登録者数)。福島県原発事故に伴う避難者数については、調査していない②避難して来られた方々が安心して暮らしていただけるよう、発災直後の一次避難所の設置や、府営住宅・市町営住宅等の提供、見舞金の支給、学校での受入れ等様々な支援を行ってきた。また、支援内容の広報やイベント等の情報提供についても、市町村と協力して行っている。今後とも避難して来られた方々の生活が安定し、安心して暮らせるよう、必要な支援を実施してまいり所存。 |
| 大阪市 | ①ピースおおさかにおいて、講演会・映画会等を実施②平和行進等にかかるメッセージの送付③当初予算42,058千円(施設運営補助金) | 該当する資料なし。 東日本大震災による各種支援状況はHP参照 http://www.city.osaka.lg.jp/kikikanrishitsu/page/0000195672.html |
| 能勢町 | ①「人権と平和のつどい」 12月開催予定②該当なし③1,260千円 | ①該当なし②該当なし |
| 豊能町 | ①小中学校の修学旅行「広島・長崎」②なし③なし | ①なし②なし |
| 箕面市 | ①平和関連のパネル展等を行う予定(らいとびあ21)、平和関連のパネル展等を行う予定(ヒューマンズプラザ)、戦時生活資料展予定(郷土資料館)、展示は日時未定 ②ピースフェスタ等は後援名義使用申請があった場合、使用基準を満たすものであれば承認。平和行進等については、例規に基づき、可能な範囲で受け入れ対応している。③61千円(平和施策のみならず、人権、国際理解などと一体化した事業として) | ①76人(原発事故に限らず、東日本大震災の避難者)②府下避難者支援団体等連絡協議会「ホットネットおおさか」からの情報誌等を市社協より月1回郵送し、また相談も受け付けている。 |
| 池田市 | ①各小・中学校とも7～8月に非核・平和に関する学習を実施。(平和登校日、平和のつどい等)、修学旅行で小学校は広島、中学校では長崎・沖縄を訪れ平和学習を実施。毎年8月に平和と人権・狭山を考える池田市民集会を実施②特になし③605千円(市民安全実行委員会事務事業) | ①市として把握しておらず ②特になし |
| 茨木市 | ①・非核平和展を開催予定 平成28年7月26日～7月31日、・阪急茨木駅並びにJR茨木駅前にて非核平和街頭啓発を実施予定 平成28年8月9日、・市役所本庁において、原爆死没者を慰霊し、あわせて世界恒久平和を祈念するための黙とうの実施を市民に呼びかける庁内放送を実施する予定。平成28年8月5日(翌日6日の呼びかけ)平成28年8月9日 ②市内4団体への平和行進・平和マラソンへの協力③1,693,000円 | ①東日本大震災被災・避難者全体で約70人 ②情報提供や関係イベントなどの紹介 |
| 高槻市 | ①修学旅行において、小学校(全校)では広島、中学校では長崎・沖縄を訪れ、平和学習を実施、・小学校等での被爆アオギリ2世及びクヌギ2世の植樹(予定)、平和展の開催(8月4日～5日)、<パネル展示等>(8月4日～5日) ・特別展示「あの日」から未来へ～語り継ぐ戦争と平和～、・戦時資料・パネル展の展示、市内小学校での平和学習のDVD上映、折鶴・手作りおもちゃコーナーなど、<映画会>(8月4日)ドキュメンタリー映画上映「わたしはマララ」、<音楽祭>(8月5日)「愛・いのち・平和」をテーマにした市内アマチュアコーラスによる合唱、・市広報誌での非核・平和に関する記事の掲載、・原爆死没者の慰霊及び平和祈念の黙とう実施のよびかけ、・各種非核平和行進隊へのメッセージ送付 など②国民平和行進等に対し市長からのメッセージおよび激励・見送りを行っている。③平和展事業858千円、その他平和モニュメント等の清掃、日本非核宣言自治体協議会分担金など163千円、合計1,021千円 | ①22人(福島県からの避難者数) ②情報提供(東北復興新聞データ及び大阪府弁護士会からの情報提供資料の送付) |
| 島本町 | ①7月に「人権と平和のつどい」でパネル展示予定、8月に戦中食試食体験事業を予定、平和啓発記事を広報に掲載 ②平和市民マラソン等へのメッセージの送付③20千円 ※人権ライブラリーにおける貸出用として、平和関連図書を購入予定(購入額未定) ※補助金交付団体との共催で、平和に関するパネル展示を実施予定 | ①把握していない②特記事項なし |
| 吹田市 | ①・小中学生への啓発では人権と平和をテーマにした「じんけん作品」の募集(教育委員会)、・市民平和のつどい、非核平和資料展「アンネ・フランクパネル」展(仮)及び市民から寄贈された戦時中の生活用品や軍隊に関する資料の展示、平和を題材とした催し(詳細未定)、・平和祈念資料館の管理運営、・市民から提供された戦時中の生活用品や軍隊に関する現物資料等の常設展示及び平和に関する資料の収集と貸出し、平和映画会の開催、その他平和に関するイベント、・平和祈念資料館企画展、「杉原千畝」パネル展(仮)②6～7月に行われる平和行進について、市役所にて水分補給のため、湯茶を提供③38,128千円 | ①21世帯64名 ②ボランティア団体(復興支援すいた市民会議)と情報共有を実施 |
| 摂津市 | ①7、8月を平和月間と定め各種事業の実施、・平和コンサート、平和パネル展、市内公共施設における映画会等 ・平和黙祷の実施 ・広島・長崎への記念式典への派遣(隔年)他、②平和行進の受入等の支援、平和行進団体の激励、メッセージ③734千円(平和施策推進事業) | ①不明 ②対応していない |

| | | |
|------|--|--|
| 自治体 | <p>今年度の非核平和施策</p> <p>①児童、生徒、住民への啓蒙活動や草の根運動への後援・施策</p> <p>②市民や団体が実施するピースフェスタ、国民平和行進等、草の根運動への後援・施策や対応</p> <p>③今年度の予算額</p> | <p>福島原発事故被災者関係</p> <p>①福島原発事故に伴い、貴市(町村)への避難者は何人おられますか</p> <p>②福島原発事故被災・避難者に対する対応</p> |
| 豊中市 | <p>①平和月間事業 展示 原田小学校6年生平和学習の作品「ヒロシマを忘れないために(7月30日～8月31日)岡岡図書館、平和と人権週間(1)パネル展(8月 日)、(2)人権講演会(8月5日) 蛭池人権まちづくりセンター、母子父子福祉センター「センター夏祭り」センターPRコーナーでの「歴史パネル(仮)」展示(8月21日)母子父子福祉センター、平和月間事業 DVD上映会「チンチン電車と女学生」(8月29日)千里公民館集会場、<ロビー展>(8月 日～ 日) パネル展「(仮)JICAを知っていますか?—アフリカでのボランティア活動をととして国際協力について考える—」<講演会>(8月20日) 講演会「(仮)海外ボランティア活動を知ろう」中央公民館、平和月間事業 8月4日～9日 青年の家いぶき パネル展とビデオ上映 大阪国際平和センター所蔵の写真パネル(沖縄関係)を展示するとともにアニメ映画「ウミガメと少年」を上映、大阪空襲と戦時下の市民の暮らしパネル展 (1)パネル・資料展(7月29日～8月3日)ピースおおさか所蔵の資料「大阪空襲・市民生活C」24点などの展示(2)平和映画会(8月17日)戦争と平和に関する映画を上映 蛭池公民館、旭堂南北一人語り「ひ・ろ・し・ま」(8月20日)伝統芸能館、「学びの叢策 戦争と平和」7月23日 大阪城周辺 (1)ピース大阪自由見学(2)語り部講演「大阪大空襲の経験」久保三也さんによる講演(3)大阪城周辺戦跡めぐり、平和月間パネル展(8月8日～8月19日)「ヒロシマ・ナガサキの原爆被害から考える平和」市役所第二庁舎、庄内公民館平和月間事業(8月20日～8月24日)庄内公民館 パネル展と映画上映「核の恐怖」、展示「戦争と平和の本」(1)8月2日～8月31日岡岡図書館(2)8月1日～8月31日服部図書館(3)8月2日～8月31日庄内図書館(4)8月1日～8月31日庄内幸町図書館(5)8月1日～8月31日高川図書館(6)7月1日～8月31日千里図書館(7)8月2日～8月31日東豊中図書館(8)7月1日～8月31日野畑図書館(9)7月20日～8月31日蛭池図書館、高齢者ふれあい交流会「戦争・平和について考えてみよう!」7月19日 豊中人権まちづくりセンター憩いの家(1)平和をテーマにした創作落語山口正和さん(五月家湯次郎さん)(2)平和をテーマにした創作紙芝居 菊地和美さん(紙芝居作家)(3)高齢者から戦争の体験を聞く、平和月間パネル展 8月22日 豊中人権まちづくりセンター「豊中空襲」ひと まち であい第16回夏まつり 7月23日 藤木公園内グラウンド、人権文化のまちづくり講座 8月30日豊中人権まちづくりセンター、「戦争・平和について考える。」テーマ、内容については調整中 講師:西谷文和さん(フリージャーナリスト)、第65回 戦没者並びに空爆犠牲者追悼式 10月1日 とよなか男女共同参画推進センター すてっぷ ※H28年6月10日現在情報、事業内容変更等発生する場合があります。②後援・共催については、市民団体の平和の取り組みへの後援を行っている。③1,209,000円</p> | <p>①平成28年4月1日現在 9世帯18名</p> <p>②市営住宅の提供、各種情報提供(最大月に2回)、各種相談業務 等</p>  |
| 枚方市 | <p>①※枚方市では啓蒙活動という表現は使用せず、啓発活動として実施。10月 市内戦跡バスツアー、7月～8月 平和資料室特別展及び平和映画会、3月 枚方市平和の日記念事業(「平和の燈火」平和メッセージ発信事業)等)、※その他、住民団体や学校単位で希望があれば、戦争遺跡等の見学説明会を随時開催 ②・市長メッセージなどの対応をしている③8,928,000円</p> | <p>①把握していない ②福島原発事故による被災・避難者かどうかに関わらず、東日本大震災による被災・避難者に対する対応として、被災地支援事業や市税・保育料の減免等の対応を行っている。</p> |
| 寝屋川市 | <p>①(1)恒久平和を願う市民のつどい(寝屋川市立中央公民館講堂) 8月13日 ・平和に関する講演会 講師:青山晴浩さん テーマ「ニッポンの主人公が自立する～政局、経済・金融、外交・安保から憲法まで根ごとを考える～」平和のバラ写真展示 ・原爆・戦争パネル展示、・戦中食「すいとん」試食コーナー、 8月16日 恒久平和祈念の式典 市民の皆様から平和の折鶴を募集し、寄せられた折鶴を恒久平和を願う千羽鶴にし、市内平和の塔に捧げる。(2)平和のバラの苗木配布12月3日(寝屋川市立中央公民館講堂)平和のバラを育てることにより幸福と恒久平和を再認識するために、希望する市民に抽選でバラの苗木を配布。(3)親子の平和バスツアー 8月初旬日帰(参加者小学生以上の親子) 姫路市平和資料館等(4)黙祷(庁内放送) 寝屋川市民等来庁者に対し、広島・長崎原爆投下日、終戦記念日に黙祷の呼びかけ②・市長に祝電・メッセージの対応を行っています。・平和行進時に寝屋川市役所を経由する場合はお茶の接待等を行っています。③1,420千円</p> | <p>①6世帯</p> <p>②大阪府からのメールによる情報提供(危機管理室が対応)</p> |
| 交野市 | <p>①平和祈念式典(10月予定)、平和の鐘打鐘(市内寺院の協力により8/6,8/9実施予定)②市長メッセージや後援名義、国民平和行進では会場提供等を実施③300,000円</p> | <p>①7人②大阪府弁護士会による支援として、定期便雑誌の送付</p> |
| 守口市 | <p>①平和のつどい(8/5) 講演会、パネル展示、アニメ映画 等②国民平和行進に対して、市長メッセージを③市の予算4万2千円[平和のつどい講師謝礼40,000、平和首長会議メンバーシップ納付金2,000円]</p> | <p>①把握していない②把握していない</p> |
| 門真市 | <p>①(1)住民への啓蒙活動 平和に関する映画会等を実施予定(2)児童、生徒への啓蒙活動「社会科」の授業における戦争や平和に関する学習や「特別活動」における実地学習並びに、「総合的な学習の時間」「道徳の時間」等における国際理解・多文化共生教育を全小・中学校において進めている。(2)①事業名:2016ピースフェスタ門真(市と教育委員会の後援)承認団体:ピースフェスタ門真実行委員会(2)国民平和行進等 市長メッセージを送付する等の対応を実施③33,000円(担当課の総額)</p> | <p>①福島原発事故に伴う避難者については把握していない(東日本大震災に伴う避難者については、現在のところ4名)</p> <p>②大阪府や大阪府下避難者支援団体等連絡協議会等からの情報提供を実施している。</p> |
| 四條畷市 | <p>①7月30日～31日 平和・人権展 語り継ごう平和の大切さ、平和人権パネル展 ・戦中食試食会 ②・原水爆禁止国民平和行進、非核・平和行進の受け入れ、反核平和の火リレーへの職員の参加、ピースリレー、反核平和マラソン大会、原水爆禁止世界大会への市長メッセージ送付③342,000円</p> | <p>①把握していない</p> <p>②対応していない</p> |
| 大東市 | <p>①・折鶴コーナーの設置・千羽鶴の作成、平和バスツアー、ヒロシマ記者事業、広報誌や防災無線を使って、広島・長崎の原爆投下時刻に黙祷、平和パネル展、親と子で平和を考えるつどい②応援メッセージを送付している。③569千円</p> | <p>①当初2世帯5名が避難、現在1世帯2名が居住 ②特になし</p> |
| 東大阪市 | <p>①平和事業として8月にアニメフェスタ、講演会、資料展、戦争・原爆被害者の体験講話を実施②7月末「平和のための東大阪戦争展」を後援。東大阪市人権啓発協議会、東大阪市人権擁護委員会と共催で事業を行っている。各団体の平和行進に協賛。③平和行事経費1,698千円</p> | <p>①大阪府が把握</p> <p>②水道料金の免除、被災地からの便りの郵送</p> |
| 八尾市 | <p>①長崎被爆体験講話 市内小中学校14校で、施(7月)、「平和のつどい」(8月)懸垂幕の設置(8月)、黙とうの実施(8月)、公用車に平和啓蒙のマグネットシートを貼付(8月)、戦争遺跡めぐり(未定)、「私の戦争体験」として市民から戦争の体験を募集し、寄せられた体験は「FMちゃお」での放送やホームページに掲載。市内小中学校にミニミニ原爆展(非核協賛)の貸出について案内し、希望する学校に貸出。②平和行進等に対し市長メッセージを送付③1,526千円</p> | <p>①24人 ※東日本大震災に係る避難者については把握しているが、原発事故のみの被災者については把握できていない。②東日本大震災に係る避難者に対しては、福島県からの被災者向け情報を定期的に提供している。</p> |

| | | |
|-------|--|---|
| 自治体 | 今年度の非核平和施策 ①児童、生徒、住民への啓蒙活動や草の根運動への後援・施策 ②市民や団体が実施するピースフェスタ、国民平和行進等、草の根運動への後援・施策や対応 ③今年度の予算額 | 福島原発事故被災者関係 ①福島原発事故に伴い、貴市(町村)への避難者は何人おられますか ②福島原発事故被災・避難者に対する対応 |
| 柏原市 | ①・8月8日～10日「柏原市平和展」を開催、・広島平和記念資料館から実物資料を借用展示、・千羽鶴手作りコーナー、・平和を考える映画の上映、・平和と人権のパネル展示による啓発活動、・関係機関から送付されたポスター・チラシ等を市内各施設に展示、・反戦、非核・平和に関するビデオなどの視聴覚教材の貸出を得ている、・保育園や幼稚園の園児による平和メッセージを頂き展示②平和活動に賛同し、メッセージ等をお送りしている。③1,352千円 | ①なし②なし |
| 松原市 | ①平成28年度非核平和展8月8日～12日松原市役所1階市民ロビー、はーとビュー(人権交流センター)・原爆の図丸木美術館所蔵のパネル展示、・大阪国際平和センター所蔵のパネル展示、・広島平和記念資料館所蔵のパネル展示、・ふるさとびあプラザ所蔵資料の企画展示、・体験コーナー、折鶴コーナー、昔のあそび体験、大型布製紙芝居、玄米つき、上映コーナー(戦争関係のDVD等の上映)、・読書コーナー(平和関連の図書や絵本)、・ご意見コーナー、・啓発物品の配布 ②なし③653千円 | ①12人 ②資金援助:福祉総務課による生活保護の支給 住宅支援:建築住宅課による市営住宅の紹介 |
| 藤井寺市 | ①・平和展の開催(8月)・広報紙(8月号)にて平和特集記事を掲載②・毎年8月に市内人権団体との共催で平和展を開催、・平和行進を実施している団体に対して、激励の挨拶、集会場所等の提供を実施③市内人権団体に、人権啓発事業・平和事業等の事業補助金を交付 128万円 | ①なし ②なし |
| 羽曳野市 | ①(1)庁内放送により正午に1分間の黙祷を呼びかけ 8月6日(広島平和記念日)、8月9日(長崎原爆の日)、8月15日(平和祈念)、(2)「羽曳野市平和展&人権展」の開催(5月5日)・市民フェスティバル会場において、公益財団法人大阪国際平和センター(ピースおおさか)より借用の「大阪空襲・市民生活」のパネル展示、・平和の願いを込めたハートの風船の配布などを通じて平和の啓発、・「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名コーナーの設置(3)「2016年羽曳野市ピースアピール」の発表(5月5日)(4)平和ゲートボール大会の開催(5月18日)憲法週間にちなみ、日本国憲法が保有する平和主義の精神について広く啓発し、平和の尊さについて考えるきっかけとなることを目的に開催(5)「ミニ平和展」の開催(8月に予定)市役所コミュニティスクエア(ロビー)「平和首長会議原爆パネル」の展示及び「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名コーナーの設置②平和行進等へのメッセージの送付③265,000円 | ①1名 ②避難者専用登録情報システムへの情報登録 |
| 太子町 | ①終戦記念日の1分間黙祷②現在予定なし③人権団体に、人権啓発事業・平和事業等の事業補助金として807,000円 | ①なし②特になし |
| 河南町 | ①小・中学生に対する平和を含めた人権の作文・詩・標語等の募集を行う6月～9月「平和を考えるパネル展」8月中頃、「平和を考えるビデオ上映」8月中頃、「平和を考える町民の集い」8月末、・平和・人権バスツアー(広報で募集を行い、バスで平和関連施設を訪問)10月②なし③5,062,000円 | ①把握していない②把握していない |
| 千早赤阪村 | ①平和写真パネル展の実施、非核平和都市宣言懸垂幕の掲出、広報紙による啓蒙活動 ②なし ③予算計上なし | ①2016年5月現在0人②なし |
| 大阪狭山市 | ①・8月13日に文化会館で「平和を考える市民のつどい」を開催し、反戦・非核をテーマにした映画を上映、・広報紙等で6,9,15日に黙とうを呼びかけ②・大阪狭山ライオンズクラブが主催する「国際平和ポスターコンテスト」の後援、及び市長賞を交付、・国民平和行進大阪実行委員会が主催する平和行進へメッセージの発信③未定(大阪狭山市人権協会の事業費で実施) | ①0名(2016./5/12現在) ②なし |
| 富田林市 | ①・広島原爆の日(8/6)、長崎原爆の日(8/9)、終戦記念日(8/15)に市役所内での黙祷と広報による市民への呼びかけ、・小学生による非核・平和ポスターの取り組み、・「第32回平和を考える戦争展」8月5日～7日、(展示)企画展「核の時代を振り返る」(仮題)(～原爆開発から米大統領の広島訪問まで)予定、無言館・戦時下の動物たち、・広島・長崎原爆の現物資料とパネル展示、・戦時下の富田林(市民からの戦時品・遺品)、折り鶴、ピースアクセサリー、メッセージアートなど、(平和記念講演会)櫻井 義夫さん、福田 正昭さん(富田林市在住 戦争体験者)(予定)、(映画・人形劇・紙芝居など)、・「親子平和の旅」8/5～6 8月6日「広島平和記念式典」に市民代表として親子1組(2人)を派遣②・国民平和行進」の受入れ③2,462千円(被爆者関係除く) | ①1人 ②・関係書類の送付 ・富田林市東日本大震災被災者居住環境改善助成金によるエアコンの購入(H27年度実施) |
| 河内長野市 | ①・市民まつりで、人権・平和にかかる掲示物展示による啓発の実施、・愛・いのち平和展の実施、・夏休み子ども映画の集いの実施、・夏休み平和施設見学会の実施、・「広島原爆の日」長崎原爆の日「戦没者を追悼し、平和を祈念する日」に庁内放送により正午から1分間の黙とうを実施、・黙とうの呼びかけを広報紙により市民へ周知②国民平和行進に市長メッセージを送付③405千円 | ①11名 ②定期的に大阪府から送付される「大阪府下避難者支援団体等連絡協議会のお知らせ」を避難者に送付している |
| 高石市 | ①・非核平和都市宣言啓発塔の常設(庁舎前)、・「高石市非核平和展」(忘れないで平和の尊さ)の開催(7月28日～8月9日)(小学6年生などから寄せられた「平和ハガキ(約600枚)」の展示、非核・平和に関する写真等パネルの展示、平和に関連するビデオの映写、小中学校において実施された戦争の語り部事業のDVD上映等、・懸垂幕「核兵器のない平和な世界をめざそう」の掲出(8月の1ヶ月間)、・広報紙(8月号)の人権のページに、非核・平和に関する特集を掲載、・関係機関から送付されたポスター・チラシ等の掲示・配布、・反戦、非核・平和に関するビデオなど視聴覚教材の貸出し、・平和を祈念し、市職員が黙とう(8/6・9)の実施呼びかけ(広報紙で市民にも「黙とうに協力を」と広く呼びかける)、・戦争の語り部事業(小中学校において、語り部による戦時体験の講演会の実施)②・原水爆禁止国民平和行進メッセージ、協賛金、湯茶等の対応、・非核・平和行進メッセージ、協賛金、湯茶等の対応、・関西網の目反核平和マラソンメッセージ③ | ①5人 ②支援情報リーフレットの転送(月1回) |
| 堺市 | ①「さかいっこ」作文、わたしからの人権メッセージ募集、「平和と人権展」の開催8月上旬、②平和と人権を考える市民のつどい」の参加 7月9日(堺市と協力して人権活動に取り組んでいる世界人権宣言促進連絡会の主催) 平和行進等へ市長メッセージを送付 ③平和と人権を尊重するまちづくり条例推進事業費3,144,000円、自由都市・堺 平和貢献賞3,572,000円、平和と権展2,523,000円、平和と人権資料館運営費15,031,000円、世界人権宣言促進堺連絡会事業補助金1,175,000円、人権啓発塔2,500,000円、原爆被害者の会補助金(2団体に交付) 160,000円 | ①東日本大震災による市内避難者は251人(平成28年5月18日現在)。ただ、避難理由は把握していない。②東日本大震災により被災し当市に避難されている方を対象に「東日本大震災被災者サポートカード」を発行し、見学施設の入館料等の割引サービスや各種検診、健康検査、カウンセラーによる悩みの相談を実施。 |

| | | |
|------|---|---|
| 自治体 | 今年度の非核平和施策 ①児童、生徒、住民への啓蒙活動や草の根運動への後援・施策 ②市民や団体が実施するピースフェスタ、国民平和行進等、草の根運動への後援・施策や対応 ③今年度の予算額 | 福島原発事故被災者関係 ①福島原発事故に伴い、貴市(町村)への避難者は何人おられますか ②福島原発事故被災・避難者に対する対応 |
| 和泉市 | ①(1)市民公募による「和泉市人権平和事業実行委員会」と連携・協働で実施・平和千羽鶴展開催に伴う啓発と千羽鶴の公募の呼びかけを5月広報紙、市ホームページで実施し、作品展示を7月～8月に、市内公共施設(4か所)で開催。・学校園、保育園に「平和千羽鶴展」の作品募集、展示案内、・平和映画会を8月に実施、・人権平和市民研修会の開催(戦跡等のフィールドワーク等)、・平和の集いの開催(講演会・コンサートやパネル展示等)、(2)平和啓発ビデオの購入とその貸し出し(3)市民から寄贈いただいた戦時用備品の貸し出し ②(1)市民公募による「和泉市人権平和事業実行委員会」と連携・協働で実施(2)反核平和マラソン、国民平和大行進、非核・平和行進に市長メッセージ、飲料提供等 ③1,199,000円 | ①50人 ②避難者支援情報(大阪弁護士会とりまとめ)を月1回郵送 |
| 泉大津市 | ①・例年実施しているピースディスカッションについて、規模を拡大し、4回開催の予定(零年1回)、・平和メッセージ展 6月30日～7月5日 於:テクスピア大阪1階 織編館、・平和パネル展 8月1日～5日 於:泉大津市役所1階ロビー)、・平和パネル展にて「戦没者遺族の会」に一部展示スペースの提供、・ピースディスカッション(7～8月を予定)、・サイレン吹鳴(8月6, 9, 15日)、・「非核平和啓発看板」庁舎外壁に掲出、「非核平和柱」などを市内9か所に設置②平和行進団体へのメッセージ③354千円 | ①4人 ②上下水道料金6か月分無料 有料ゴミ袋60枚支給 毛布支給 小・中学校受け入れ |
| 忠岡町 | ①・中学校では沖縄への修学旅行の前に、平和学習を行っている【7月】(1)平和行進(町長メッセージ)(2)「光の箱」作製(7月29日)【8月】(1)啓発懸垂幕の掲示(2)街頭啓発(3)ピース大阪見学会(8月3日)(4)非核平和パネル展(8月4日～9日)(5)非核平和図書コーナー設置(8月1日～20日)(6)終戦記念平和祈念事業(町長メッセージ、平和の鐘打鐘)②平和行進(町長メッセージ)③・非核平和事業啓発物品代 60,000円、・借上料 90,000円(ピース大阪見学会の費用)、・使用料 57,000円(ピース大阪見学会の費用) | ①現在は受入なし(平成23年に2世帯4名を受入、現在はすべて町外に転居)②・子どもの入園の手続きを簡素化し、迅速に受け入れるようにした ・人権侵害等の相談については、自治防災課と人権広報課が連携して行うよう体制を整えている。 |
| 岸和田市 | ①(1)子ども平和映画会6/18(マドカホール)・小学生対象に午前・午後映画を上映(クロがいた夏)、・平和関係写真パネルのロビー展示。(2)平和行進・マラソン湯茶接待(時期未定・市役所新玄関)③巡回平和パネル展「沖縄線とひめゆり学徒に関するパネル」山直市民センター6/8～6/14→春木市民センター6/15～6/21→桜台市民センター(6/22～6/28)→市役所新玄関6/29～7/5→八木市民センター7/6～7/12→東岸和田センター7/13～7/19(4)非核平和資料展(8/3～8/7白泉会館)戦争・紛争による難民に関するパネル、原子爆弾に関するパネル、戦時中の現物資料等を展示し、平和啓発を行う。また平和に関する講演会や映画の上映、朗読グループによる朗読劇を実施予定。(5)「被爆地・ヒロシマへの平和バス」(7/22～7/23広島市)市民40人を広島へ派遣し、広島平和祈念資料館見学、平和祈念公園見学、被爆体験講話聴講、平和ビデオ視聴を通じ、非核平和に関する研修を行う。(6)ピースネット 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館・公益財団法人長崎平和推進協会が学校向けに無料で実施しているピースネット事業(長崎在住の被爆者がインターネットテレビ会議システムを通じて小学校児童に被爆体験を語る)を、岸和田市立小学校5校を対象に実施。②平和行進・マラソン湯茶接待(時期未定・市役所新玄関)③平和推進事業 1,683千円 | ①特になし ②特になし |
| 貝塚市 | ①児童、生徒、住民への啓蒙活動・関係機関からのポスターやチラシの掲示・配布、・「貝塚市平和教育基本指針」に基づき、各学校が平和教育に組織的・計画的に取り組む。・小中学校で夏季休業中に平和登校を実施。・小学校は広島、中学校(2校を除く)は長崎、沖縄への修学旅行で反戦・平和を学習。・原爆死没者の慰霊・平和祈念の黙とう。・平和記念像・核兵器廃絶平和宣言都市碑、「平和のともじり」像②平和行進へのメッセージや激励③人権啓発事業と捉えた予算としていることから、本施策に対して、明確に定めていない | ①把握していない ②把握している対象者について「お知らせ」等連絡事項を配布 |
| 熊取町 | ①・平和パネル・ポスター展(8/6～8/21)、・平和フィールドワーク(8/28)、・戦没者等合同追悼式(11/20)、・人権学習会(11/20)、・小中学校において、夏季休業中に登校日を設け、平和学習を実施(8月中旬)②第36回反核・平和のつどい(反核・平和のつどい実行委員会)③・戦没者合同追悼式関連事業768千円、・泉佐野原爆被害者協議会熊取地区会補助金33千円、・平和フィールドワーク168千円、・人権学習会・・・人権協会との共催(人権協会予算) | ①避難者はいない②対象者の方がおられないため対応はとっていない |
| 泉佐野市 | ①(1)「平和を考えるつどい(映画会)」(予定) 反戦・平和に関するアニメ映画上映、・広島・長崎原爆パネル展、(2)市広報への関連記事の掲載(3)庁内放送での黙祷の呼びかけ ②(1)「反核・平和のつどい」「反戦の夕べ」への後援(2)平和大行進出発式等での激励の挨拶 ③特になし | ①0人②特になし |
| 田尻町 | ①平和について考えるパネル展、町立学校における平和学習②毎年、泉南地域網の目平和行進に対して本町役場庁舎前及び庁舎トイレ、駐車場を貸出している。③0円 | ①なし ②なし |
| 泉南市 | ①(1)非核平和の集い 8月21日 文化ホール・平和パネル展「ヒロシマ・ナガサキ」・映画「アオギリにたたくて」の上映、泉南市真剣啓発推進協議会等と共催で実施 (2)懸垂幕の掲示 8月1日～8月31日 市役所壁面、(3)ビデオ上映 8月1日～8月15日 市役所ロビー 平和継承「現在(いま)を生きることもたちへ語り継ぐ！私たちの戦争体験」(4)非核平和の図書コーナー及び非核平和写真 8月2日～8月31日 市立図書館(5)ビデオ上映 8月15日 市立青少年センター・ビデオ上映「火垂るの墓」(6)夏休み平和アニメ上映 8月27日 公民館・ビデオ上映「ちいちゃんのかけおくり」「夏服の少女たち」②なし③非核平和の集い事業費一式332,000円 | ①0人②なし |
| 阪南市 | ①市役所ロビーにて非核平和パネル展の実施(8月4日～9日)、市内全域、防災無線にて8月15日の終戦記念日に黙祷の実施を呼びかけ②特になし ③4000円 | ①0人 ②特になし |
| 岬町 | ①町内各小学校(3校)・中学校(1校)で平和学習の実施②なし③0円 | ①0人 ②なし |



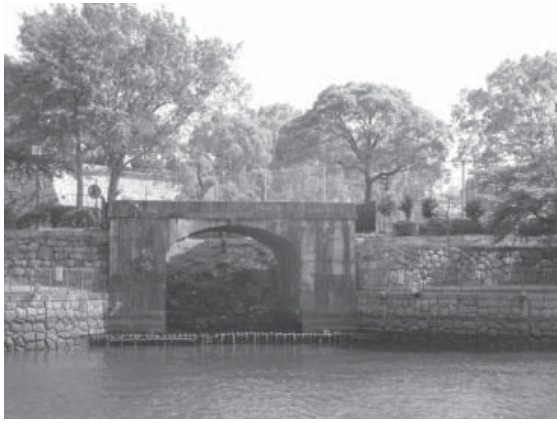
大阪砲兵工廠

ファイルド ワーク

三宅宏司武庫川
女子大名誉教授

のガイドで
(第二回)

五月二三日、大阪環状線の京橋から森ノ宮間の西側から大阪城にかけて存在した東洋一の巨大な軍需工場、大阪砲兵工廠の歴史と今も残る数少ない建造物を巡るファイルドワークに参加しました。
一九四五年八月一日の終戦前日の大空襲



石造りのアーチ型の砲兵工廠荷揚げ門
(写真)は、当日ガイドして下さった三宅先生の懸命の努力で唯一残されたものですが、目立たず説明板もありません。現在緑溢れる大

阪城に、場違いのレンガ造りの建物がいくつか残っていますが、保存する気のない大阪市は朽ち果てるのを待っているようです。今、私たちは過去の反省をしながら、遺構を未来に残し、戦争をしようにする勢力と闘わなければならぬと熱く心に刻みました。

今村久美子

勤労協近現代史教室で「軍都大阪」を学び、大阪城戦跡巡りも参加してきましたが、今回はポツンと残された碑や建物の歴史の意味を考えさせられた深い企画でした。小学校六年から京橋の商店街の外れで育ち、高校は玉造まで通っていましたので、三宅先生の「京橋」の「都市計画」のお話はずっと感じていた違和感を払拭できました。今後の大阪の発展のためにも、「軍都大阪」の歴史を残す遺跡に、せめて看板をかける運動をと思いました。

中村玉枝

常任世話人の紹介

二月の総会で新しく常任世話人になっていただいた方々をご紹介します。今回は、熊取にある京大原子炉実験所にお勤めになっておられたお二人から自己紹介と書簡をいただきました。今後、団体推薦で四月から着任されてこられた方々もご紹介したいと思います。

松山奉史

松山奉史

今期の常任世話人を拝命しました。富山市で生れ(一九四二年)、十年前に京都大学原子炉実験所における教育・研究活動を定年退職で終えました。以後三六五連休の気ままな日常を送っています。終戦間際の八月二日に富山大空襲にあり、祖父と姉が犠牲になりました。空襲では家も焼けましたので小学一年一学期まで疎開生活を体験しました。小学六年のときに第五福竜丸のビキニ被曝事件があり、中学時代には大気圏核実験による放射能雨のニュースに接し晴雨にかかわらず毎日傘を持って登校したこと、後に広島・長崎の平和・原爆資料館を訪れたことなど今でも印象深く思い出します。これらの記憶は戦争根絶と核廃絶を願う現在の心のベースになっていると思います。

自然の核エネルギーと核兵器

常任世話人 跡部紘三

四月一四日、西日本では桜の時期がほぼ過ぎたばかりの頃、熊本県を中心とする地域において熊本地震が発生しました。一六日未明にはマグネチユード(M)七・三、の震度七の本震は一週間を経ても甚大な被害を与え続け、多数の死者や家屋倒壊、土砂災害からの一〇万人を超える避難者を出しています。又死者、関連死、全壊・半壊等の言葉に表現できない惨状が繰り返されています。地下深くのこの地震のメカニズムの詳細や予測は未だ不明・不能ですが、それらの原因となるエネルギー源の一つが天然放射性同位元素の崩壊熱とされています。ウラン二三五、トリウム二三二、カリウム四〇等が原子核崩壊を行って放出する放射線という核エネルギーの大部

を体験しました。小学六年のときに第五福竜丸のビキニ被曝事件があり、中学時代には大気圏核実験による放射能雨のニュースに接し晴雨にかかわらず毎日傘を持って登校したこと、後に広島・長崎の平和・原爆資料館を訪れたことなど今でも印象深く思い出します。これらの記憶は戦争根絶と核廃絶を願う現在の心のベースになっていると思います。

今後とも宜しくお問い合わせします。

分は地殻中に莫大の量が熱エネルギーとして蓄えられ、また、宇宙へも放出されています。

このような現象は人間による制御・管理の及ばない世界なので、地震や津波については過去の教訓を生かし、新しい状況に根差した対応、迅速と持続的支援活動しかありません。しかし、地下からのこのエネルギーは特に日本では恩恵も多く温泉をもたらし生活に潤いを与えてくれます。

一方、天上の太陽は核融合反応による核エネルギーで我々の生命の存在を許し、適度な光と熱を与えてくれます。我々は天上と地下の核エネルギーの恩恵にすがり、また、その変動に怯えながら辛うじて生命を維持していることとなります。

自然災害に翻弄される地上では、更にこの上、不幸なことに核エネルギーの強力な破壊力をもつ核兵器が開発・使用され、保有国

の人々も含め脅威に曝されています。近年、太陽観測や地震、津波対策での国際協力は進展しています。このことと異論を唱える国は無いでしょう。天上と地下の自然現象は人間にコントロールできませんが、核兵器は核保有国の作りだしたものですから、この廃絶は時間がかかっても100%可能です。これには次世代をも対象にした持続的運動以外にありません。この会の前代表世話人をなさっておられた故中川益夫先生が先頭になり、JR熊取駅や南海泉佐野駅で原水爆実験禁止等の署名呼び掛けを行っておられたのは五十年前前のことですが、現在では国際世論がこれを許さないまでになってきました。最近では核兵器廃絶決議案も国連の参加国八十六%の支持で採択されています。放射性同位元素によるダークマター(放射能発散)のテロや北朝鮮の「核の火遊び」も含

め核エネルギーを兵器に使うことの非人道性を認識する国が益々増えてこの廃絶に影響を与えて行き、これに背を向ける国を追い詰めているように思います。曲折はあっても人類にとっての「正解」は見えていくのですから、必ず核兵器廃絶の運動は人類共通の願いとして大きくなると信じていきます。

非核の政府を求める大阪の会設立30周年
記念のつどい(仮称)のお知らせ

日時 11月12日(土) 午後1時~午後5時(予定)
 場所 たかつガーデン(府教育会館) 8階
 記念講演 山下正寿氏(高知県太平洋核実験被災支援センター事務局長)



【問題提起】
大阪における水爆事件と一緒に考えてみませんか

十一月に予定しています設立30周年記念のつどいで記念講演講師の山下正寿氏は、長年高知県で高校教員を務められ、高校生と一緒にビキニ事件の実相を調査・研究されてきました。ビキニ事件という第五福竜丸の被災事件と考えがちですが、山下先生は、高知県の漁船も当時、被災をしていた事実を明らかにしてこられました。

では大阪はどうだったのでしょうか。一九五四年の被災から六〇年以上経た今日においても解明できていません。今回の記念講演を取り組む中で、大阪におけるビキニ事件に少しでも光があてることができればと思います。

今年度の
非核の意見広告ポスター
 のご協力をお願い
 メインスローガン(仮)
 核兵器のない世界を
 あなたの署名で!
 被爆者の思いにこたえて2020年にむけて世界で5億の署名を

草の根の共同と行動で、署名運動の成功と「核兵器のない世界」実現に役立つことを願って作成します。
 団体:1口3000円
 個人:1口1000円
 ※デザインなど詳細は申込案内をご覧ください

ビキニ水爆事件の研究にあたって、重要な資料を編纂した文献として『ビキニ水爆被災資料集』(監修 三宅泰雄・檜山義夫・草野信男 編集 第五福竜丸平和協会) 東京大学出版会一九七六年発行があげられます。その文献の中に大阪に関係するものとして『大阪市衛生局』放射能対策の経過報告一九五五年一月です。その記載によれば、大阪港入港した船舶は、四月一〇日の「第七福丸」以下六月二四日入港の第二幸成丸まで二四隻となつています。それ以外に新聞報道によればとして四月一二日入港の興洋丸以

下一六日帰港の第七京丸まで五隻、漁船以外の船舶として四月二四日豪州航路貨物船「靖川丸」(全乗組員上陸禁止、血液検査)、五月二〇日寄港のインドネシア定期船「日昌丸」、四月二七日バンコック寄港した「関西丸」は船長がバンコック病院で再生不良性貧血で急死し、遺骨からストロンチウム90が常人の十倍であった。
 *「全国医連」『水爆灰被害の疑いのある人々についての医学的調査(第一報)』では、富田林市で「原爆まぐろ」を食べた人々についての調査報告も記載されています。